



ひかりの子幼稚園
園長 若槻 三記子

梅雨があけたかのような夏の日差しが強い季節になりました。熱中症に気を付けながら、水分補給をこまめにして、子どもたちは水遊びや絵の具、色水遊びに親しんでいます。

先日は、お忙しい中クラス懇談会、個人懇談にご参加いただき、誠にありがとうございました。
クラス懇談会では、担任や1号主任からクラスの様子をお伝えし、その後子育ての困りごとをグループディスカッションしました。 素敵なアイデアに大きく頷いたり、同じ悩みを持っていることにホッとしたり、先輩のお母さんに励まされたり…と率直なお話をお聞かせいただく貴重な時間となりました。

乳幼児期は、人間の生涯の基礎が形成される大事な時期です。 子育てに正解があるわけではありませんが、子育ての指針になればと思い児童精神科医の佐々木正美先生の言葉を紹介いたします。

「どうぞ子どもを甘やかすことを決して恐れずといわず、一生懸命にかわいがって育ててあげてください。
いい子にしているときにかわいがるのではなく、どんなときにも愛してあげてください。
子どもは愛されることで、いい子になるのです。」



「甘やかしすぎたらわがままになりそう?」「自立できなくなるのでは?」と心配になる方もおられるでしょう。しかし、佐々木先生が言われる『甘やかす』とは、欲しがるものを何でも買い与えたり、約束事を守らないで好きにしていよということではありません。その子の気持ちに寄り添い、愛情をたっぷり与えることを指しています。十分愛された子どもは、「自分は愛されている」「このままの自分でいいんだ」という安心感と自己肯定感を育んでいくことができます。では、無条件にありのまま愛され育った子どもは、将来どうなるのでしょうか。わがままで自分勝手な子になると思われますか? そうではなく、自分を信じて新しいことにチャレンジし、困難に直面しても立ち向かう力を持ち、他者と助け合える自立した子どもに成長するのです!!

子育て、家事、仕事と日々追われる生活の中で、なかなか理想通りにはいきませんが、早く一人でできるようになってと焦るのではなく、子どもの気持ちを受け止めることの大切さを頭の片隅に置いていただけたらと思います。そして何よりも保護者の皆様が心穏やかに子育てと向き合えるよう、ご自身の心を満たす時間も大切にしたいと願っています。子どもも保護者の皆様が決して孤立してしまうことがないように、クラス懇談会、個人懇談、育自のひろば、園庭開放等を通して、お互いが知り合い、助け合える関係を築いていただけたら嬉しいです。

毎日の子育て本当にお疲れ様です。保護者の方が子どもと向き合い、愛情をいっぱい注いでおられる姿を門前で拝見します。園に来るまでに、また帰宅してから、どれほどの葛藤があったのだらうと思わされることがあります。この子育ての日々が、保護者の皆様の人生の糧となり、宝となることを願っています。

